

宮前地区タウンミーティング(要約)

平成26年2月22日(土曜日)

【市長】 皆さんおはようございます。今日は土曜日の午前中です。本来でしたらお休みで、土曜日ぐらいゆっくり寝ていたいという方もいらっしゃるかもしれませんが、このように多くの方がお集まりをいただきましてありがとうございます。このタウンミーティングの開催にあたりましては、宮前地区広報委員会の会長をはじめ、役員の皆様のご協力をいただきました。ありがとうございます。このタウンミーティングですけれども、私が就任させていただいてから始めまして、松山市は全部で旧の北条市、旧の中島町をあわせて全部で41地区に分かれます。市役所でどっちが楽かという話をしますと、市役所で待っているほうが楽です。でも果たしてそれでいいのだろうか。我々から各地区に出向かせていただいて、各地区はそれぞれで魅力もあると思いますし、その魅力を生かしたまちづくりができれば。また、それぞれに課題があったりお困りの点もあるでしょうから、我々から出向かせていただいて聞かせていただくというタウンミーティングを始めさせていただきました。ガス抜きとかパフォーマンスでやっていたんだったら、1巡で終わっていたと思います。でも、この松山市版のタウンミーティングは、ガス抜きとかパフォーマンスのためにやっているわけではありません。私は行政と市民の皆さんとの距離を近くすることができればと思っています。それは、皆さん御存じのように、私は一市民からこの立場をいただいた人間ですので、この近くする、近くできるのが私の持ち味ではないかと思っていますからです。1巡では終わりません。今、2巡目に入っているところでございます。今日も前回いただいたご意見に対する対応状況をご説明させていただきますけども、まだまだお困りの点とかあると思いますので、遠慮なく聞かせていただいたらと思っています。また、前回のタウンミーティングで、特に覚えていましてのが公民館の前の道路の置石についてお話が出ました。これは早速地元の皆さんと協力することができて、課題解決できました。やっぱりまちづくりで大事なものは、我々行政と地元の皆さんが車の両輪になって動くこと課題解決がしやすくなりますので、こうやって一緒に動いているのがタウンミーティングのいい点ではないかなと思います。最後に、今日は小学生、中学生の皆さんが来られていますので、90分間という時間で緊張していると疲れてしまいますので、あまり緊張なさらずにぎくばらんに意見交換ができればと思っています。今日はどうぞよろしくお願いたします。

【小学生】 土地があったら児童館を整備してほしいです。

【市長】 はい、これは子どもの立場からすると児童館が近くにあればというのにはよくわかります。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課の高橋です。よろしくお願いします。松山市では中央児童センターをはじめ、市内7カ所に児童館を設置しております。これらの児童館は、地区ごとに設置するのではなくて、子どもの人数であるとか各地域のバランスなどを考えながら、市内東西南北の各方面に中心となる施設をつくりまして、近くの地域をカバーする形で整備をしてきております。子育て支援や少子化対策の計画をつくってございまして、「後期まつやま子育てゆめプラン」があるんですが、その中で平成26年度末までにさらに1カ所つくることを計画しております。今後、地域の子どもの数とか地域のバランスなども考える中で、設置する場所を選んでいくことにしております。ただし、市内には児童館を設置していない地区もあります。宮前地区を含む松山市の西部のエリアは、味生児童館とか久枝児童館がありますので、残念ながら宮前地区への新たな設置は難しいと考えております。ただし、平成27年度からスタートする子ども子育てに関する新たな制度ができます。それにあわせて子育てに関するさまざまな支援計画などもつくることになっていきますので、国からも新たに松山市にお金をもらえるようになると思いますので、そういう中でも検討はしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【男性】 宮前の文化遺跡を守る会です。いつもお世話になっております。私たち宮前文化遺跡を守る会は、宮前小学校からの要請に基づきまして、地域の文化遺跡を巡る校外学習を実施しております。おそらくほかの校区においてもやっておられると思いますが、学校から高い評価をいただいております。この校外学習を進めていくにあたってお願いがございます。一つは先生方は非常にお忙しいと思いますが、できるだけたくさん生徒さんと一緒に回っていただくということと、父兄の方の参加をぜひお願いしたい。二つ目は地域のこういった学識経験者の方にもどんどん参加していただく。要するに説明していただくと。当然、宮司さんとか住職さんはもちろんですが、地域におられるまちの語り部、そういった方の参加をぜひ進めていただきたいと思います。それからもう一つは、この文化遺跡は特定の小学校区にクローズするものではありませんで、隣接校区とのかかわりが非常に強いものですから、お互いの相互学習といったことを今後小学校に対する地域との連携した教育の推進という中で、ぜひ助言をしていただきたいと思います。学校で具体的にこういった活動を進めていくにあたって、ぜひ市からも助言をしていただきたいと思います。以上をお願いいたします。

【市長】 はい、わかりました。方向性は同じだと思います。松山も小学

校で、「ふるさと松山学」という教科書があります。松山で独自につくっている教科書ですけれども、やっぱり地元に着や誇りを持ってないと、子どもたちがものすごく寂しいですよ。ですので、地元に着や誇りを持ってもらおうということで、ふるさと松山の立派な人物とかを取り上げた「ふるさと松山学」という本をつくっているわけです。地元を知ってもらおう、地元を歩いてもらおうというのは、まちづくりの面でもすごく大事なので、思いは同じだと思います。学校現場のことが出ましたので、教育委員会からお願いします。

【生涯学習政策課長】 教育委員会事務局の生涯学習政策課の津田といいます。ご質問ありがとうございます。まず「ふるさと宮前学」という本が宮前文化遺跡を守る会の皆様のおかげをもちまして、小学校で平成23年1月だったと思うんですけれども、できていると思います。経緯を私も聞いてみたんですけれども、皆様団体の色んなお知恵とかご意見を伺いながら、教職員が2年ぐらいかけて足で回って写真を撮って、最後の完成のときには団体の会の皆様にもご意見いただいたと聞いております。ありがとうございます。おそらく今、小学校ではこれを教材に地域を回っていることと思います。ご質問の先生や保護者また学識経験者を交えて地域全体で宮前を育てていこうというご意見は、しっかり受けとめまして学校にご意見として投げかけておきます。教育委員会ではこの宮前に限らず、ドリームプランという事業があるんですが、これは特色ある学校づくり推進事業ですけれども、地域の皆様と一緒にどんな取り組みができるか、学校独自で提案していただいて、それを教育委員会で採択して、若干規模は違うんですけれども、例えば宮前の平成25年度でいいますと、90万円ぐらい1年間助成をして、地域の皆さんと課外学習という形でやっているところもあります。今後、教育委員会といたしましては、先ほどご意見いただきましたとおり、地域に開かれた学校という取り組みをしていきたいと思っておりますので、またそのときにはぜひともお力添えいただければと思います。よろしく願いいたします。

【男性】 東山町の分館長と広報委員をしております。まず分館のことですけれども、現在、分館の建設申請を出しております。10月に見積りをいただきました。その中で浄化槽の予算が300万円計上されておりました。今現在、分館のところ下水道が通ればそれは必要なくなってくるわけなんです。下水道の建設予定計画をインターネットで見ますと、平成25年から28年の間に分館に下水が整備されるという計画になっているんですが、できるだけこれを今年か来年までにしていただいたら、分館の建設に間に合うんじゃないかと思っておりますので、時期を早めに下水道を整

備してほしいというのが1点。もう一つは先日テレビを見ておりましたら、新居浜市で防犯灯のLED化に2,000万円計上したというんです。現在、東山町では年間27万円の電気代を四国電力に払っているわけです。これがLED化されると半分以下になると思います。そうすると町費負担も非常に軽減されるということで、先ほど市長の話によりますと、3万灯あるということですから、全部LED化すると大変な金額になると思いますけれども、それは順次計画の中に織り込んでいただきたい。LED化を防犯灯に進めていただきたい。そうすると自治会の費用負担が軽減されますので、以上2点よろしくお願ひいたします。

【市長】 はい、それでは私から。今日の会場の公民館は公民館本館になります。松山市は旧の北条と旧の中島を合わせて41地区に分かれますから、その地区ごとに公民館の本館が置かれています。先ほど言われたように、分館というのがあります。それは地区に1カ所じゃなくて、地区に何カ所かあるという形で、松山市内全体で300以上の分館があります。この公民館本館は市役所が建てさせていただくんですけれども、分館は地元の方と共同で建てるという形になります。下水道の整備と絡みますね。

【下水道政策課長】 下水道部下水道政策課の青木でございます。下水道の整備は冒頭市長からも話したように、下流を飛ばしてすることができませんので、順番になるというところはあるんですけれども、色分けをした地図を下水道部でも整備をしております、公表させていただいております。そういう中で、25年から28年というともう今がそういう時期になっておりますので、近くまで下水管がきているという状況でございますので、実際の工事は下水道整備課が対応するようになりますので、担当課とどのような状況かを確認して、ご連絡させていただきたいと思ひます。

【市長】 そしてLEDのことですね。市民部長お願ひします。

【市民部長】 市民部の吉野と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。防犯灯のLED化は、今おっしゃったとおり3万灯以上ありまして、当然一気にかえることは難しいこともありますし、計画的にするといひましても、最終的に3万灯をかえるとなると、かなりの費用になりますので、今のところは24年度から新設の防犯灯はLEDで設置させていただいておりますので、何卒ご了解願ったらと思ひます。よろしくお願ひいたします。

【中学生】 三津浜中学校です。観光面ですけれども、前に梅津寺パークがあつて、それがなくなつてしまつたので、親子連れの方が来そうなテーマパークをつくつたら観光とかが盛んになるんじゃないかなと思ひます。

【市長】 これは、かなり考えないと難しいと思ひます。ちょっと財政の

ことについてお話をさせていただきます。できるだけわかりやすく話したいと思うんですが、仕送りと一緒になんです。よく報道で出てきますけれども、今、国は1千兆円の借金を抱えています。日本の人口がざっというと1億人です。ですから割り算して一人当たりどれだけの借金かっていうのがおわかりいただけだと思います。そして仕送りと同じというのは、国から地方には地方交付税交付金とか国庫支出金という形で国から地方にお金が配分されてくるんです。でも、親元が苦しかったら仕送りが増えるとはとても考えにくいですよ。ですから、これから地方に回ってくるお金が増えるとはとても考えにくいんです。そして、少子高齢化。今まで先輩方が頑張って、今の松山、愛媛、日本をつくってくれた。そして少子です。子どもの数は少ないですね。これから働いて税金を納めてくれる人の数が少なくなるんです。そういった中で決まったお財布の中でやっていけないといけないので、何かを建てるのは相当慎重に判断しないと行けないんです。特に行政がものを建てたら、調子悪いです、じゃあやめますということはまず基本的に難しい。1年や2年でやめますというのは非常に難しいことです。あまり横文字使いたくないんですけども、最初にお金が必要のをイニシャルコスト、続いて要るのをランニングコストというんですけども、つくったらずっと維持管理をしないと行けないんです。じゃあ行政がつくったならば、最初に建物をつくることに対してもお金が必要、維持管理することにもずっとお金が必要のわけです。私もあの梅津寺の場所はすごく瀬戸内海に面したきれいな場所だし、波の音もいいし白い砂浜もあって触っても気持ちがいいし、公共交通機関が目の前にあるので、例えばあそこで何かレジャー施設をつくって、大人がきれいな風景を見ながらお酒飲んで帰ることも公共交通があるからできるわけですよ。だからものすごく可能性のある場所だとは思っているんですけども、梅津寺パークという民間がやっていて、年月の経過もあってうまくいかなかったところだから、民間がやって難しかったところを行政が最初からやるのはかなり難しいことだと思います。ですので、やり方としては、行政がサポートして民間の方にやっていただくか、絶対可能性がないということはないと思うんですけども、やり方はある場所だとは思っています。今、三津浜は瀬戸内海の海の幸がとれるところ。宮前もすぐそばですけども、瀬戸内の幸があまり松山では活用されていないんです。まだまだ魚を食べる量が松山の人少ないので、もうちょっと瀬戸内の幸を使えないかなということで、いろいろと考えているところです。また、三津浜地区には古いまちなみもありますので、そこをもっと生かせないか。三津の渡しもありますけれども、そこをもっと生かせないかということで、さまざまやっ

るところですけれども、梅津寺パークあたりはすごくいい場所だと思います。可能性のある場所だと思うんですけれども、たちまち市役所が何かを建てるのは難しいかなと思っています。民間の方と力を合わせながらやることができるとなっています。なかなか厳しい回答になってしまったんですけれども、申しわけありません。

【男性】 どうぞよろしくお願いいたします。前々からお願いいたしておりました、J R三津浜駅の前の駐輪場の件でございますが、先日、総合交通課の方から整備をいたしますと。J Rとも話がついて整備をいたしますというお話を聞きまして、大変喜んでおります。しかしながら、構想を聞いてみますと、ラインを引くだけだとおっしゃる。ラインを引いただけでは、端っこを通っておられる方は皆さん知つとると思いますが、風が吹いたら自転車が軒並み倒れてしまう。あそこは無人駅ですから、駅員さんも誰も整理しないということで、ご承知のように通学生の中高生がみんな自転車を置かれています。そうしますと、やっぱり教育の中心である中高生が整理をせえいうても時間いっぱいになりながら帰るのか、帰るのがはやくなるのか、整理する人もほとんどおられない。そういうことで、ラインを引いて整備をするのを聞いたんですが、せっかくライン引かれるんなら屋根をつけてくださいと私は申し上げとんですが、私もいろいろ三津地区も見て回っておりますが、伊予鉄の駐輪場は屋根をつけてものすごく立派な。そして宮前地区である三津浜駅、J Rはライン引いただけで、なかなか屋根まで予算がないというおっしゃり方をされておりますが、せっかくそれだけ立派なものをつくるんだったら、やっぱり屋根をつくって、ほんとに駐輪場になったという格好にできないか、これをひとつよろしくお願いいたしたいと思っております。

【都市政策課長】 都市整備部都市政策課の松本と申します。ご意見ありがとうございます。J R三津浜駅は、愛媛県とJ R四国、そして松山市の3者で自転車駐輪場の整備及び駅前のところについて、どういった整備ができるか協議を重ねてまいりました。この度、三津浜駅の前のところをロータリー形式で車がぐるっと回れるような形で整備するとともに、駐輪場の舗装をしてフェンスをする形で整備を行う方針が決まりました。それについて費用もかかるわけですけれども、県・市・J Rで協力して整備を行うということで、今のところ実は、屋根はなかなか難しいというところですが、今日ご意見いただきましたので、もう一度持ち帰りまして検討をさせていただきます。

【小学生】 セブンスターの前道路が、でこぼこしているので、整備されていないところを整備されているところと一緒に整備してほしいです。

【市長】 セブンスターの前の道路、地図出ますかね。皆さんもそれはお感じになりますか。ちょっとでこぼこしているんじゃないかという。地図でどの辺ですか。セブンスターの前の道じゃなくて交差するところですか。かわさきメディカルさんて書いていますけど。かわさきメディカルさんとか坂田材木店さんて書いています。この辺ですか。わかりました。ありがとうございます。ここは松本課長わかりますか。また、現地確認させてもらいましょうか。

【都市政策課長】 まず現地を確認させていただきます。今のお話だと東西の大きな道路は県道三津浜停車場線で歩道がありますけれども、これは県道になります。おっしゃられたのは南北になりますので、確認しないといけません。たぶん市道だと思いますので、現地を確認して対応させていただきます。と思います。

【市長】 皆さんどこが国の道路で、どこが市の道路で、どこが県の道路かってわからないですよ。国道11号とか国道33号とか56号はおわかりになると思うんですけども、例えば437号とかっていう国道もあります。我々は言うていただいたら国道のことだろうが県道のことだろうが市道のことだろうが、今日も1時間半で帰るわけではなくしばらくおりますので、地図も持ってきておりますので、何かこの道路ちょっと危ないんよとかこの水路がちょっと気になるんよというところがありましたら、遠慮なく松本課長に言うていただいたらと思います。もし国の道路であつたら、私ども市から国に伝えるとか、県の道路だつたら県にお伝えいたしますので、縦割りじゃなくて私どもから伝えます。それと、物ごとはやっぱり直接言ったほうがわかりやすいみたいで、我々からも伝えるんですけども、皆様からも伝えていただくと、受け取るほうは大仰にとらえてしまって「いやいや、そんな大仰なことを求めとんじゃなくて、これをこうしてもろたらええだけの話なんよ」みたいなことは、自分で直接言うていただいたほうが伝わりやすいところがありますので、我々からも伝えますけれども、皆さんからも伝えていただく2ウェイでわかりやすいかなと感じております。また場所を確認させてください。

【男性】 宮前の広報委員長をしております。たぶん、今、小学生の方が発表されたのは、セブンスターの西側に駐車場のすぐ隣に私道があります。ここは、なかなか私道の持ち主が許可をしてくれないということで、セブンスターができるときにセブンスターで全部舗装をしますよと言ってくれたそうですが、なかなか判子がついてもらえない現状で、でこぼこになっています。たぶんそこを言っているんだと思います。

【都市政策課長】 私道でありましても、道路管理課と一緒に対応ができ

るかどうか検討させていただきたいと思います。

【女性】 すみません。松山市の交通指導員の校区会長をさせてもらっています。婦人会のお世話もさせてもらっていて、先日公民館と婦人会がタイアップして太山寺へレモン狩りウォーキングに行ったんです。そのときの道路のことですが、私たち普段はあまり歩いていないものですから、太山寺まで歩くのが結構大変で、気合い入れて歩いたんですけども、観光港へ行く道路、表通りを通って、それからすみれ野団地の下を通るように歩いて行ったんですが、歩道も観光港へ行く観光港に近いほうは、新しく整備されているから路面がすごくきれいですけれども、四国製罐の横のところまでは古い道路ですので、街路樹も本当に大きく繁っていて日陰になっていいんですけども、根が張って歩道を割って盛り上がっているんです。そこで蹴つまげて、危ないから「危ないよ」ってずっと後ろの人に言っていたんですが、これは私も以前からずっとウォーキングをされている方たちに、ずっと言われていたんです。でも、「これしょうがないわ、松山も全国もどこも古い道路はそうになっているんよ、気をつけて歩いてね」ぐらい言っていたんですが、愛媛マラソン、日本一人気のあるマラソンがありますので、昨日ちょっと交通関係の方にお聞きしたら、仕事終わりに走る方がすごく多いと。夜走るのに、やっぱりあそこで蹴つまげる、色んなところ古い道路ではもう街路樹が大きくなって、根が張って蹴つまげて危ないとお聞きしたので、松山の市道のことに関してですけれども、古い街路樹で路面がぼこぼこ、高低差が結構あるんです。そういうところから、少しずつでも直していただきたいなと思っております。よろしくお願ひします。

【都市政策課長】 都市政策課の松本です。ご意見ありがとうございます。観光港へ行く北のほうは最近整備されましたので、非常にきれいな道路になっています。おっしゃられたところはそれよりも南のところ、南北の道路の歩道の植樹帯の部分だと思います。後ほど、具体的な場所を住宅地図で確認をさせていただきますが、南北の道路は県道の松山港線であります。松山市から県の地方局へお伝えをして、どういった整備ができるかお話をさせていただきたいと思いますので、ご意見ありがとうございます。

【小学生】 高山と桜ヶ丘あたりの細い道が街灯が少ないので、夜通っていたらちょっと危ないので、街灯を増やせれるのなら増やしてほしいと思います。

【市民部長】 市民部の吉野です。ご質問ありがとうございます。防犯灯ということですが、防犯灯は地域が設置して、地域が維持管理をしていくことになっています。ただ、新設するときには防犯協会から助成

金を出して、電気代は地元で負担していただくことになりますので、まずお家の方とか学校の先生に相談して、町内会長さんにこのあたりにつけたいんですと相談していただいたらいいかと思います。よろしく願いいたします。

【市長】 4月、7月、10月、1月の年4回、受付があるので、家族の方を通じてお話をしてみてください。

【男性】 宮前小学校の子どもの見守り隊をしています。先ほど市長から、宮前21号線の用水路、広くすると交通量が激しくなって余計にいかんのじゃないかという問題があると思うんですけど、私が7年ほどあそこ子どもを連れて歩いておるんですけど、水曜日と土曜日にごみの収集日があるんです。その折に両脇にごみを置くんです。子どもは2列であそこを通るわけですが、ふたをしたら問題があるんですけど、歩道がない道なんで、そのふたしたところを歩道ができるようにしてもらったら、危険な通り道にならないと思うんですけど、どうでしょうか。

【市長】 すみません。ちょっと言葉足らずだったかもしれませんが、ふたをすると道幅が広がって、子どもが逆に安全でなくなる場所があるというのは一般的な話です。この宮前21号線のところがそうというわけではありません。一般的な話としてそういう例もあるとお話をさせていただきました。ちょっと言葉足らずだったかもしれません。

【都市政策課長】 まず場所の確認ですけれども、宮前小学校の南の東のところの道ですかね。

【男性】 30メートルぐらいの道ですけど、西に向いてです。

【都市政策課長】 わかりました。現在オープンの水路があるところだと思うんですけども、道路の幅員が4メートル少しということで、やっぱり狭いところになっております。通学路ということもありますので、水路のふた架けは、水路を管理していただいている土地改良区の方のご理解と、水路に面して住んでおられる沿線の方の了解。といたしますのが、道路高と民地の高さが違うと勾配の関係があります。そういったところも含めてご了解いただいた上で、改良区あるいは町内会から道路建設課に要望書を出していただいて、整備ができるかどうかを検討させていただいたらと思います。

【市長】 できることから取り組みたいと思うんですが、ちょっと現状を教えてください。水路があつてごみを両方に置くとおっしゃったんですかね。

【男性】 週2回のごみ収集日は両脇にごみを置いてあるんです。

【市長】 この道ということでよろしいんでしょうかね。ここ水路があり

ます。ここの両方にごみを置くということですか。

【男性】 道に沿って町ごとにごみを置くと。水路にフェンスがないんです。フェンスをすると交通事故があったときに大けがををすると思うんですけど、暗渠にしてもらおうと、そこは歩道がないんです、線もないし。

【市長】 車通りは結構あるところですか。

【男性】 ありますね。

【市長】 なるほど、わかりました。早速、現地確認をさせていただいたらと思います。

【男性】 ご質問の前に、今日ご参加の皆さんにちょっとお願いをしたいと思います。この4月1日から松山市の社協におきまして、「まつやま徘徊SOS」というメール配信が始まります。これは認知症の方が行方不明になった場合、メール会員様に捜査のご協力をお願いするメールでございますが、一人でも多くの方にメールにご登録をいただきますように、詳しくは三津浜支所に聞いていただければよろしいかと思っておりますが、ぜひお願いしたいと思います。特に高齢化社会と認知症患者は日進月歩で増えている現実がありますので、ご理解とご協力をお願いできればと思っております。それに関連しまして常々疑問を持つんですが、地域包括支援センター、それからまちづくり協議会、いったいどういったことをどういうメンバーと話し合っ、どういう方向に向いているのかが私ら市民には全くわかりません。その辺の効果についてご回答をお願いできればと思っております。

【市長】 小学校の皆さんもいるので、地域包括支援センターはどのようなところか、まちづくり協議会はどういうものなのかをそれぞれご説明いただけますか。地域包括支援センターからいきましょう。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課高橋です。地域包括支援センターですが、市内に10カ所設置しています。地域包括支援センターがどうい、うことをしているのかといいますと、その地域に住んでいる高齢者の方が、例えば介護サービスを利用したいとか、困っていることがあった場合に、地域包括支援センターに連絡していただければ、お年寄りのところに直接出向いて行って、生活状況とか体の状態を実際に見させていただいて、介護サービスにつなげるとか色んな福祉サービスにつなげる役割をしているところです。

【市民部長】 市民部の吉野です。まちづくり協議会について概略を申し上げます。まちづくり協議会は、地区にある色んな団体、例えば町内会であったり公民館であったり高齢クラブとか、すべての団体を横につなげて、一つの団体ではできないことを大きな力にして、市に要望するとか、色んな地区の行事をするためにトータルでまちづくりをしていこうとしてい

る団体です。

【市長】 松山市には41地区あると申し上げましたが、その各地区で自分たちの地区の魅力を生かしたまちづくりができればその地区はより輝きます。そういう41地区の集合体である松山市は、それぞれの地域が輝いてくれるとよりいいまちになると思います。例えば宮前地区の魅力を一番知っているのは宮前の方か、市役所側かっていったら宮前地区の方が一番魅力は感じてらっしゃると思うんです。行政が主体になってまちづくりをやっちゃうと、41地区が金太郎飴みたいな、どこも同じようなまちづくりになっちゃう。例えば地区でボスみたいなワンマンな人がおって、わしのためにまちづくりするんじゃみたいな人の組織ができてしまったら、そういう方には公のお金、税金ですから、そういう組織にお金をお渡しすることはできないですよ。いい民主的な組織ができたならば、財源と権限をお渡ししましょうというのがまちづくり協議会になります。それぞれまちづくり協議会ができて、まちづくり計画を出してもらって、そしてその計画に沿ってこちらからもお金を出す形になります。今、市内で協議会ができてるのが12、準備会が4。合計41地区中16地区。人口の数でいうと、松山市の半数以上は超えました。それがまちづくり協議会というものでございます。

【男性】 広報委員会です。タウンミーティングの中での質問ですが、まちづくりは宮前地区はどちらを向いているんだろうかという質問だと思うんです。私ちょっと説明させてもらったと思うんですが、このまちづくりは、広報委員制度が今年の3月いっぱいできなくなります。それに代わるものを、まちづくり協議会で作っていただきたいというのが市の方針でございます。ただ公民館連絡協議会がありますが、そちらでは全然指導してないわけです。つくってくださいという。すべてが広報委員会で作ってくれという話だったんですが、なかなか公民館とかほかの各種民生とか福祉団体とうまく結びつけられない。私の力が弱いんだと思いますが、宮前地区は広報委員会でもって今の広報委員の役割をすべて引き継ぐ。これには共同募金とか日赤募金とか、あるいはごみステーションの管理とか回覧物以外に広報委員の役割とかたくさんございます。それをすべて引き継ぐ形の宮前地区広報連絡協議委員をつくりました。これは今の広報委員さんがすべて引き継ぐことで、宮前は今までの広報委員がやっておった仕事をすべて引き継いでやっていくと。防犯にしてもしかりでございますが、皆さんにはいろいろと団体の方にはお集まりをいただいて、説明することなくつくったと、こういう経緯がございます。今後は今と同じ形で同じ役割を持った委員さんがやっていくということでございます。公民館活

動は公民館活動でやっていく、民生の活動は民生でやっていく。すべてそういうことで引き継ぐという委員会をつくりました。

【市長】 ご説明ありがとうございます。

【小学生】 宮前小学校です。お願いします。公園ですけど、先生がいつもフェンスの周辺に自転車を並べて置いてくださっておっしゃっているんですけど、いくら言ってもみんなそのことを遊びに夢中になって忘れてしまうので、公園ってすごい広い場所なので、小さい場所でもいいので自転車の駐輪場をつくってほしいです。

【市長】 どこの公園のことかわかるかな。

【小学生】 中須賀公園。

【市長】 中須賀公園。公園の駐輪場ですね。

【都市政策課長】 中須賀公園はセブンスターのところのすぐ北側にあります。非常に広い公園で遊具もたくさん置いてあります。今のご意見は自転車を置くところを設置してもらいたいという意見ですね。中須賀公園、それから近くには会津公園とか内浜公園ということで、松山市が土地区画整理事業をした際に、こういう立派な公園をつくらせていただいています。今のご意見は公園緑地課が所管をしていますので、地元の管理協力会の方ともご相談をさせていただいて、検討をさせていただくということでご理解いただけたらと思います。

【市長】 教えてください。先生からはどこに自転車を置きなさいとされているんですか。

【小学生】 入口のところに並べて置いてくださって。

【市長】 なるほど、どうだろうなあ。それがマナーとかルールだったら、それを守るほうをやっていくほうがいいんじゃないだろうか。どう思う？それは市長、間違っているよって思うんだったら言ってください。

【小学生】 車輪が砂に絡まって倒れるんです。

【市長】 そんなに砂のところ自転車置くと倒れやすいの？どうだろう、おじさんが小学生のときのことを考えると、倒して置いとってでもいいことないか？ちょっと冷たいかもしれんけど。お金はかかるんよ。松山市のお金、お財布って決まっているんよ。例えば中須賀公園でつけたならば、僕らの小学校の校区の公園でも自転車置き場つくってくださいよというお話が出てくるんですよね。そうすると松山市全体のお話になっていくんです。ちょっと難しい話になってくるんですけど、ハード整備とソフト整備という言い方になるんですけど、建物とか何かをつくるのをハード整備っていうんです。ハード整備できない場合は心でやれることをやっていこう。例えば小学校の通学路に大人の人が出てくださって、安全指導してくださ

ったりするのをソフト整備っていうんだけど、できるんだったら自分たちの心がけでできることはやってほしいよね。そういうところがあるんですけども、検討はさせてもらいたいかなと思います。

【男性】 宮前地区の民生委員をしております。全国的に消防団員の不足が深刻化しております。特に若い人の担い手がないということで松山市も企業等と一緒に魅力のある団員づくりを目指しておりますが、これから高齢化時代に入って、まだ60代70代の若い人元気な人がいますね。気力体力それから能力のある人を消防団員に採用して、災害のときに非常に役に立つと思うんです。特に、普段いつも近隣におりますんで、若い人は仕事に行っておられんということで、松山市が全国に先駆けて高齢者の消防団員を採用したらどうでしょうか。市長お願いします。

【消防局総務課長】 消防局総務課の中矢でございます。消防団に関するご質問ありがとうございます。先ほどご質問にありました、全国的に消防団員の減少傾向に歯止めがかかっておりません。しかし、松山市の場合はさまざまな取り組みを今までやってきました。どういう取り組みをしてきたかという、機能別消防団員として全国で初めて郵政の消防団員を採用しております。それと先ほどおっしゃられました、事業所消防団員、それと大学生防災サポーターといたしまして、大学生の消防団員も採用しております。それと離島部に限定したアイランドファイヤーレディースといたしまして、島の方が漁に出かけたりしたときにその奥さんたちで島を守ろうという消防団員も組織しておりますので、基本団員が松山市の場合は年々増加傾向にあります。ご質問の高齢者の消防団員は、常に松山市の消防団は、全国に先駆けた取り組みをやっておりますので、貴重なご意見を参考にさせていただきまして、松山市の消防団のために検討させていただきたいと思っております。どうもありがとうございます。

【中学生】 三津浜中学校です。宮前公園に鳩のふんがたくさんあって遊びにくいので、そこをどうにかしてもらいたいと思っております。

【都市政策課長】 場所は南海ドルフィンがある道路の下のところに東西に広い公園があります。道路のちょっととまるところに鳩が来てふんをするんじゃないかと思うんですけど、市の都市整備部公園緑地課が所管をしております。鳩とかカラスとかどういった対応ができるかは、なかなか難しいかとは思いますが、一番は餌だと思うんです。餌を一般の人がやると、どうしても野鳥は増えてしまいますので、餌はやらないようにしてもらいたいというのがありますけれども、どういう対応ができるかは、検討させていただきたいと思っております。

【環境政策課長】 環境部の環境政策課の大西といたします。鳩のふんとい

うご意見だったんですけれども、カラスのふんの被害もあると思うんですけど、道路のふんは道路管理課が不定期ではありますがありますけれども清掃はしており、もし電線とかにカラスがとまって困るというような場合には四国電力、連絡先が941-6111にかけていただいて内容を言っていただいたら対応してくれます。NTTの場合は連絡先が934-1290で設備担当ですので、かけていただいたらどういう対応するか回答していただけますので、また参考にしていただけたらと思います。よろしくお願いたします。

【市長】 街中はカラスが多いのですが、夏はいないんです。冬に渡ってくるそうです。まったくいないことはないんですけども、街中の電線など見ていただくと、とげとげになっているところ、コイル型といいますかループ状に巻いてカラスがとまらないようにすることができるそうです。そういうやり方もありますので、カラスでお困りの方がいらっしゃったら民間の会社でも対応してくれるようです。

【中学生】 三津浜中学校です。公園ではボール遊びや自転車に乗ることができず、ボール遊びをしようと思ったらボール遊びができる公園まで行かないといけなくて、小学生とか中学生は移動手段がほとんど自転車で、行く最中に車が多いところを通ったりして危険がいっぱいあるので、テレビでよく見る自転車専用通路はつくれるのかどうかお願いします。

【市長】 大体、1年に1カ所のペース、ボール遊びのできる公園を増やしています。実は松山市は市長への直接のメール制度をつくっていますので、皆さんの声が入ってくるんですが、ある公園のそばに住んでいる女子中学生さんだったと思うんですけど、メールがきたことがあります。「市長、聞いてください。私は公園のそばに住んでいるんですけども、その公園はボール遊びをしちゃいけないことになっているんですけども、ボール遊びをしている子がいて、私の家のところにボールが飛んでくるんです。建物に当たったりします。もう一つ嫌なのは、勝手に取りに来ることがあるんです。嫌なので何とかしてくれませんか」というメールがきたんです。なぜ、どこの公園でもボール遊びができないかというのと、やっぱり周りに住んでいる方の声もあるんです。さっきルールとかマナーの話も出ましたけども、人間が生きやすくするためにルールやマナーがあるんですけども、ルールやマナーを守っていただけないと、壊れちゃうんですよ。そういうことでは寂しいので、周辺の方々の協力もいただきながら、公園は公園管理協力会の方々に管理してもらっているんですけども、そういう方々とか周辺の方々の協力をいただきながら、ボール遊びのできる公園を増やしています。松山市としてもボール遊びのできる公園を増やしていきたいと

思っていますので、同じ思いだと思います。そして自転車専用道路については。

【都市政策課長】 ご意見ありがとうございます。都市政策課の松本です。最近では自転車を利用される方が非常に増えています。環境にもいいし健康にもいいということで、自転車だけが走る専用道は、実は松山市にはないです。皆さんが御存じのところだと、平和通りが北側も南側も自転車を通るように舗装を変えているところがありまして、新しく自転車専用道をつくる場合は、新設の大きな4車線道路をつくる場合はぜひ松山市としてもつくっていきたいと考えております。なるべく自転車が通りやすくするために、「松山市自転車ネットワーク計画」を昨年8月に策定しまして、自転車は基本的に車道の左側、路側帯がありますけども、その左側を自転車が走っていただくということで、走りやすい舗装とか路面標示を今後松山市としても取り組んでいきたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

【男性】 近くの道路が去年か一昨年くらい前に一方通行になったんですけど、知らん人が多いのか、どういったらええんでしょうね。

【市長】 逆走してくる。

【男性】 そうです。それでトラブルに僕もなったことがあるんですけど、ヘリオスのパチンコ屋から西向いて出る10メートルから20メートルのところですけど、一方通行なんです。それが最近なんですけど、知らん人が高浜の方から出てきて、信号の迂回路を利用するんじゃないかと思うんですけど、437号の国道出るまでにあんまり広くないから素直に離合はできんから、ちょっと言い合いしたこともあるんです。

【都市政策課長】 住宅地図で後ほど確認させていただきます。一方通行の制限は所管が警察で、この地区は松山西警察署になりますので、西警察署に松山市から連絡をさせていただきます。一方通行という標識に、車を運転する人、バイクの運転者、それぞれ十分に気をつけていただいて、ルールを守っていただくことが基本になります。

【男性】 道路標示がなく看板だけがあるんです。入口の道路自体に表示したら、ちょっとは違うんじゃないかと思うんですけど。お願いします。

【都市政策課長】 はい、わかりました。ご意見ありがとうございます。

【市長】 あっという間に、さまざまご意見いただきましたので、11時半が近づこうとしております。私も人間なので、こうやって皆様から「市長、これやってや、あれやってや、これやってや」という話をいただく。「わかりました、やりましょう」と言ったほうが楽なんです。市長の人気取りから考えたら、そっちのほうがいいかもしれません。でも、それを

やってしまうと将来の子どもや孫にツケを残してしまうことになりかねない。東日本大震災があって、皆様もあの酷い津波の映像を見られて、いろいろとお感じになって、あのころからよく言われるようになったのは、命のリレーという言葉があります。やっぱり命をいただいている以上は、役割があると思うんです。おかげさまで、この前発売になった週刊誌では、一番住みやすいまちは松山だというのが全国の週刊誌で出ているくらい、今いい形の松山市だと思います。でも、我々の世代でその貯金を食いつぶしてしまって、将来の世代にいい松山が残せなかったということではいけないので、やはりやるべきはやるが、できないこともあるという、耳触りのよいことだけは申し上げないということで臨ませていただいております。子どもさんからの要望なので、できたらこたえてあげたいんですけども、公園の自転車のとめるところを全市的に構えるよりかは、交差点で危ないところがあるんで交差点のカラー舗装、普通の色じゃなくて赤い色に塗装するだけで、交差点だっていうのがわかって事故の防止につながる。交差点の大きさにもよるんですけども、100万円ぐらいあれば小さな交差点であったらカラー舗装ができます。そういったように、やっぱり皆さんの声にしっかりと耳を傾けて今何をすべきなのか、後手にならないためには何をすべきなのかを考えさせていただくために、このタウンミーティングを重ねさせていただいております。今日、さまざまご意見をいただきましたので、必ず1カ月を目途にこのようなご意見いただき、こう松山市としては考えていますというのをお返事させていただきますので、それで終わりじゃなくて、市からはこういう返事が返って来たけども、まだこういうことがあるんやけどっていう、キャッチボールを続けていけたらと思いますのでよろしくお願ひします。最初に申し上げたとおり、行政と地元の方が車の両輪になってやっていったら、できることってさまざまあると思います。行政と民間が、行政と地元がバラバラやったらできることはできないと思います。そういう間にほかのまちのほうが優れていくようではいけないと思いますので、行政と地元が行政と民間が一緒になってやるのが大事だと思いますので、これからもご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。最後に、市役所は三つの文字になります。市・役・所。市民の皆さんの役に立つ所で市役所じゃなきゃいけないと思っていますので、今日お感じになっていただいたように、市役所に言っても何も変わらんわいじゃなくて、我々もしっかり受けとめていきますので、どうぞ皆さん敷居を高くなさらずに、「こんなんできんかな」って言われて、「その方法はできないんですけど、こういう方法だったらあるんですよ」とか、そういう情報もお伝えすることできますので、どうぞ敷居を高くなさらずに、

いろいろと市役所に相談をしていただければと思います。長時間になりましたけども、まことにありがとうございました。今後ともどうぞよろしく
お願い申し上げます。

— 了 —